

かみまち 農業委員会だより

加美町農業委員会

加美町字長檀75番地2 (☎ 67-5411)

第5号

平成23年2月15日発行

農業委員と一緒に栽培した「さつまいも」。今日は特別に子ども達と一緒に調理したという豚汁の中で黄金色に輝いていました。子ども達から「また来年もお願いします。」との声に委員一同「はい。」と答えました。

(中新田保育所感謝祭に招かれて)



異常気象とTPP

会長 兎原伸一

日本海側を中心とした大雪や、インドの寒波、オーストラリアの大洪水等、世界各地で大型の災害が相次いでいる。こうした異常気象には、ラニーニャ現象が関係しているという。「ラニーニャ」はスペイン語で女の子を意味し、普段「エルニーニョ」(男の子)よりおとなしいとされるが、このところおてんばぶりが目立つ。異常気象・気象災害は農業に大きな影響を及ぼす。

また、農政においても、大きな影響を及ぼす重要問題が相次いでいる。米価の大幅な下落や環太平洋連携協定(TPP)などである。TPPは、菅首相が「6月をめどに結論を出す」としたが、TPPへの参加は『絶対反対』しなければならない。米麦や畜産物などが関税撤廃となれば、農業はもとより地域経済や環境への深刻な打撃は避けられない。農業の危機は農村の危機でもある。安全な国産食料ばかりか多面的機能までもが損なわれかねない。都市住民も無関心ではいられまい。農村に視点を据えた農業再生論が国民の間で活発化することを期待したい。

優良農家を表彰

加美町では、平成十五年から町の農業振興に大きく貢献された個人を毎年表彰しています。今年は、去る一月二八日、農業委員会総会時に、中新田地区から下狼塚の加藤恒治さん、小野田地区から南鹿原の大石文市さん、宮崎地区から小泉の藤田俊義さんが、その功績を認められ表彰されました。

下狼塚 加藤恒治さん

加藤さんは、養豚の一貫生産（親豚20頭）を主体に、水稲2・5畝を経営し、地区の営農組合では、水稲33畝、大豆12・5畝を受託する傍ら、JAの観光事業・食育支援事業の一環として、泉光陽台小学校の5年生を受け入れ、春には田植えとサツマイモやさといもの苗植え、秋には収穫祭を行なっている。また、同校のバケツ稲栽培の先生として出前授業に出かけるなど、幅広い活動を続ける認定農業者であり指導農業主である。加藤さんが生産する豚は「しもふりレッド」といい、宮城県が開発した純豚で、寒さには強いが暑さに弱く、普通の豚と比べると繁殖率は半分から2/3程度だ



という。養豚を手がけたのは高校生の時。それから30年以上も努力と研究を重ねてきた。「今の目標は、平均繁殖数を10頭にすること。」飼養の難しい純豚では厳しい数字だが意欲満々である。奥様の支えがあつてこそこの農業経営。「とても一般的ですが、そのうち一緒に旅行でみたいです。」と語ってくれた。

南鹿原 大石文市さん

大石さんは、酪農（成牛100頭・育成牛16頭）を主体に、水稲2・7畝、畑10畝を経営する認定農業者だ。高校卒業後、特に酪農をするためではなく、人工授精士の免許を取得する目的で実践大で畜産を専攻したが、その時に見た実習先の牧場の風景と暮らしぶりに心を奪われ、「酪農しよう」と決めたという。当時、祖父が4・5頭の乳牛を飼育していたが、卒業後は酪農で生計をたてたいと20頭に規模を拡大し経営を始めた。



平成17年、息子さんの就農を機に公社事業により100頭牛舎の建設及び最新の搾乳機械の導入を行い、飼養頭数を120頭に増やした。大石さんが目指すのは、消費者に安心安全な牛乳を届けることと酪農（らくのう）経営。現在、息子さん夫婦と3人で牛の飼育を行なっているが、休めるのは月に2日程度だという。夢は、「休日を決めきちんと休めるような経営をすること。」そしてもう一つ、「今1歳の孫と一緒に酪農の仕事ができれば最高だね。」と笑顔で話してくれた。

小泉 藤田俊義さん

藤田さんは、水稲7・5畝、大豆4畝、小菊0・5畝を経営する認定農業者で、加えて、平成20年から地域の認定農業者4名と「トレッチェ」という農事組合法人を組織し、小泉・鳥屋ヶ崎地域の転作大豆と飼料米40畝を一手に引き受けている。



専業農家になったのは10年ほど前。それ以前は内装業を主業としていたが、農家で食べていくことが若い頃からの目標であり、そのための準備を計画的に進めて来た。無人ヘリ防除やトルコキキョウ、その他の作物にも積極的に取り組み技術を磨いてきた。「失敗し損をすることもあつたが、身に付いた栽培技術や知識こそが自分の財産だから」と、とても前向きである。

専業農家になり長年の懸案でもあった作業場の新築を行なった。今までの経験と仲間の助言を基に、耕作面積が増え作目が増えても対応できる形にしたという。

今、一番力を注いでいるのが小菊の栽培である。少しずつ設備投資を重ね、栽培技術も向上してきた。「B級品の販売ができれば小遣い程度にはなるかな？少しは儲けたいね。」と、笑っていた。

報告

「家族経営協定講演会」を

開催しました！

11月16日やぐらい文化センターを会場に、宮城県大崎農業改良普及センターの協力を得て、加美町農業委員の研修会として、岩手県胆沢郡金ヶ崎町石母田勇作・れい子夫妻をお招きし、「家族経営協定締結推進講演会」を開催しましたので、その一部をお知らせいたします。



協定締結で変わった

我が家の経営

講師 石母田 勇作氏
石母田 れい子氏

勇作氏

皆さんこんにちは。よろしくお願いたします。私たちは普通の農家です。水稻を専門に約15畝ほど二人でやっていきます。また、私は金森営農組合の組合長をしており大豆と麦の

転作をしています。加えて19年から産直をやることになり、県

ほか関係機関に相談しながらやって来ましたが、今度家内を口説き落として加工担当になってもらいました。今設計図を書きながら進めています。

さて、我が家では、平成8年に家族経営協定を結んだのですが、地域で推進を始めたのは家内が農業委員になってからです。

れい子氏

初めまして、農業委員をしております石母田れい子です。一期目は議会推薦、二期目、三期目は公選でなりました。地域からの推薦という形ですが、女の人が役職に就くのは大変でした。実は、議会の推薦をいただいた時に農業委員の仕事は農地の売買とか貸借とかと夫に教えられることができました。実際に活動を始めると家族経営協定の普及推進もあるということが分かり、これなら私も締結しているしできると

思ったんです。まず、友達に声をかけ、「ああいよいよ」って言うてもらいました。それがきっかけですね。それで二期目は地域に働きかけて公選でなりました。一期で終わりがたくなかったんです。でも、続ける力になったのは夫の「やってみろ」という言葉でした。

推進するために協定書について勉強しました。そして、協定書には経営面ばかりじゃなくて生活面も入れていいということを知りました。炊事とか洗濯とか介護とか。必ずしも女の人の仕事ではなくお互い協力してやるものです。夫は私が遅い時など洗い物もしてくれました。本当にありがたいと思います。締結したからといって必ず茶碗を洗いなさいというのはありません。お互い協力して



より良く暮らそうということとです。

勇作氏

協定を結んだことによって、今まで隠してきたこと、経営状況について話すようになった。私は経営主なので赤字を隠していました。相談もしませんでした。でも、農業は二人で一緒にやっています。相談して解決策を見つけて経営も安定してきました。

れい子氏

締結を勧める時に私は「夢を書こう」って言ってます。何でもいいんですよ。年に一回は旅行したいとか、加工に挑戦したいとか。私は娘が帰ってきたので、もし結婚したらそのお婿さんを養子縁組しようって書きました。

協定書には、借入の返済期間とか農機具の更新とか長期の計画を書き見直しを重ねてきました。平成20年から単年度の実行計画書も作っています。前年の反省を基に計画をたてて実行し結果を見てまた反省するということなんです。このやり方は目標も立てやすく形に残しておけるのでお勧めです。協定には色々な形があります。難しく考えず夢を書くつもりで取組んでください。

家族経営協定講演会に

参加して思うこと...

畠山 明美

(宮崎地区)

家族経営協定とは、家族経営を担っている家族が対等な立場で経営と生活について話し合い、ルールを決めて文書化することです。ルールの決め方は難しく考えることはなく、たった一つから良いので誰にでもできます。少しずつできることから始めることです。

メリットは...

①一年間の仕事と生活の流れに興味がある。
②夫婦又は親子間で話し合うのがコミュニケーションが増える。

③仕事と休みの区別をつけることで生活にメリハリがつく。

④仕事を分担することで責任感とやる気がある。

⑤一年の計画や反省をすることで次の目標がある。

等々ありますが、中でも大事なことはお互いに思いやりを持って相手の考え方を理解することです。

「今年こそは何か一つ」とお考えならぜひ家族経営協定締結をお勧めします。きっと新しい一歩が踏み出せること間違いありません。農業を楽しく、新しいことにチャレンジする一つのきっかけになると思います。

加美町農地賃貸借情報

平成22年1月から12月までに
締結(公告)された賃貸借におけ
る賃借料水準(10㌢当たり)は、
以下のとおりとなっております。

田(水稻)の部

(平成23年1月)

締結(公告)された地域名		支払方法	平均額	最高額	最低額	データ数
中新田地区	基盤整備地域	金 納	18,900 円	23,000 円	17,000 円	45
		物 納	－ kg	－ kg	－ kg	0
	未整備地域	金 納	16,900 円	22,100 円	14,000 円	84
		物 納	105 kg	150 kg	46 kg	40
小野田地区	基盤整備地域	金 納	14,100 円	19,000 円	14,000 円	37
		物 納	80 kg	101 kg	59 kg	67
	未整備地域	金 納	15,100 円	17,100 円	10,000 円	8
		物 納	68 kg	98 kg	30 kg	48
宮崎地区	基盤整備地域	金 納	12,500 円	19,000 円	10,000 円	98
		物 納	76 kg	88 kg	73 kg	6
	未整備地域	金 納	12,000 円	14,000 円	10,000 円	20
		物 納	57 kg	57 kg	57 kg	4
加美町平均		金 納	15,000 円			292
		物 納	82 kg			165

畑(普通畑)の部

締結(公告)された地域名	平均額	最高額	最低額	データ数
中新田地区全域	- 円	- 円	- 円	0
小野田地区全域	4,800円	5,000円	2,900円	13
宮崎地区全域	- 円	- 円	- 円	0
加美町平均	4,800円			13

* データ数は、集計に用いた筆数である。

* 金額は、算出結果を四捨五入し100円単位としている。

* 「加美町平均」の額は、各区分の平均値(四捨五入前)をデータ数により加重平均した値である。

農活雑感

中新田地区

千葉 連悦

中新田地区の
農業委員で毎年
中新田保育所の
子ども達と一緒に

にサツマイモの苗植えと収穫を
実施しています。 苗と肥料は
JA加美よつばに提供いただ
き、私たち委員は、苗を植える
までの畑の準備、苗植への指導、
その後の管理(草取り、草刈)、

収穫の段取りなどを行ない
ます。子ども達は植える時は
初めての経験なのでしよう、
土におそろおそろ触れます。
しかし、草取りを体験し自信
がつくのか芋ほりの時には
目を丸くして自分の掘った
芋を自慢するんです。「今年
もやって良かった」と思う瞬
間です。この感動が24年間
休むことなく続けてこれら
れた理由の一つだと思います。

子ども時代の体験が、後に
物事に立ち向かう力になる
といわれています。土に触れ
作物を育てた経験が、子ども
達の人生において、大きな困
難に立ち向かう一助となる
こと、そして、人間形成の一
助となることを願うするも
のです。
春はもうすぐです。25回
目のサツマイモ植えが楽し
みです。



登喜ちゃんと明美ちゃんの
知恵袋

「簡単・焼餅風お好み焼き」

今回は、カンタン調理を紹介しま

す。材料は、

- ・白玉粉 ・長ネギ ・桜えび
- ・焼のり ・水 ・サラダ油
- ・しょう油

① ネギは細切りにし桜えびと混ぜ
ておく。

② フライパンを温める。

③ 白玉粉を水でとき(お好み焼き
より硬めに)①を混ぜる。

④ フライパンにサラダ油を多めに
ひき③を好みの大きさに焼く。

(くっつきやすいので注意・)

⑤ ひっくり返して両面が焼けた
ら、しょう油をつけて焼のりに
包んで召し上がってください。

鏝節にマヨネーズソースでもいい
ですよ。冷めても美味しく食べら
れます。

一度お試しください。 明美

国が支える。安心が大きくなる

担い手 積立年金 [愛称]

農業者年金

農業に従事する方なら広くご加入いただけます

お問い合わせ：農業委員会事務局 (☎ 67-5411)

編集委員

委員長 一條 寛

副委員長 板垣 文一

委員

青砥 昭義

工藤 義也

伊藤 登喜子

畠山 明美